

8. 工学部

I	工学部の研究目的と特徴	8-2
II	「研究の水準」の分析・判定	8-4
	分析項目 I 研究活動の状況	8-4
	分析項目 II 研究成果の状況	8-20
III	「質の向上度」の分析	8-34

I 工学部の研究目的と特徴

1. 工学部の基本的な目標等

工学部は、平成 18 年より教員と教育組織が分離した体制を取り、教員は大学院理工学研究部に所属している。詳細を資料 1 に示す。

資料 1 工学部の学部構成

学部構成	
【教員組織】	
理工学研究部	
生命・情報・システム学域	数理情報科学系，ヒューマン・生命情報システム学系，システムエンジニアリング学系
ナノ・新機能材料学域	物質物性基礎科学系，ナノマテリアル・システムデザイン学系，機能性分子創成変換システム学系
環境・エネルギー学域	地球環境システム学系，エネルギー学系
【教育組織】	
工学部	
電気電子システム工学科，知能情報工学科，機械知能システム工学科，生命工学科，環境応用化学科，材料機能工学科	

(出典：工学部規則)

工学部の教育研究上の目的

富山大学工学部規則 第 1 条 2 の様に、研究の理念・目標を資料 2 に示す。

資料 2 工学部の理念・目標

【理念】
(1) 常に生命の尊重を意識し、特に地球環境に配慮すること
(2) 独創的研究を通してその成果を社会に還元すること
(3) 教育・研究に当たっては地域社会との連携を強化すること
(4) 教育・研究の公開性を高め、開かれた大学とすること
(5) 教員は常に自己点検し、それを教育研究に反映させること
【基本方針】
(1) 研究の高度化・先端化
(2) 組織の特性の弾力的活用
(3) 社会との連携と社会への貢献

(出典：工学部ホームページ)

ミッションの再定義による研究目的の設定について

文部科学省の「国立大学改革プラン」に対応し、研究水準、教育成果、産学連携等の客観的データに基づき、学部の強み・特色・社会的役割を整理した（ミッションの再定義）。

研究では「部局横断や国際連携などの取組を通じ、研究者間の相互刺激による研究の質・量の高度化を推進しつつ、材料科学、化学、核融合学、環境・エネルギーや情報通信を中心とした社会インフラ等の工学分野並びに医薬理工連携による臨床診断、予防・治療のための材料・機器や医薬品の開発をはじめとするバイオテクノロジー分野の先端的な研究を推進する。」とする目的を設定した。

2. 特徴

本学部は北陸地区屈指の工業地帯に位置しており，地域との連携の下，各産業分野の専門的研究の推進及び技術力の向上で，前身の高岡工業専門学校創設当時から，一貫した地域社会の研究分野の基幹としての役割を果たしている。

今後一層，地域連携を推進し，各産業分野の開発研究及び技術力の向上に努める。

【想定する関係者とその期待】

学部学生，大学院修士・博士，研究生，卒業生・修了生を始め，共同研究実施の全国及び世界の専門的研究者，製造業を主とする産業界や各種学界，研究支援を受ける国や都道府県，各種財団，更には一般市民の社会生活に至るまで，工学部は，学術研究活動を通じ，科学技術を広く社会に還元させることが期待されている。

II 「研究の水準」の分析・判定

分析項目 I 研究活動の状況

観点 研究活動の状況

(観点に係る状況)

工学部所属の教員が、平成22年4月～平成28年3月に論文・著書等や学会等で発表した年度別研究業績数を資料1-1-1に示す。

資料1-1-1 工学部各学科年度別研究業績数

①電気電子システム工学科

電気電子システム工学科	学術論文	著書	その他の論文	特許	合計
平成22年(24人)	86	10	135	8	239
平成23年(25人)	100	6	119	10	235
平成24年(25人)	75	6	101	18	200
平成25年(25人)	58	3	77	13	151
平成26年(24人)	54	4	57	6	121
平成27年(24人)	35	1	38	1	75
合計	408	30	527	56	1021

電気電子システム工学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成22年	5件	0件	2件	1件 (1カ国)	8件
平成23年	5件	0件	5件	0件	10件
平成24年	2件	1件 (PCT出願)	13件	2件 (1カ国)	18件
平成25年	5件	1件 (PCT出願) 1件 (2カ国)	6件	0件	13件
平成26年	4件	0件	1件	1件 (1カ国)	6件
平成27年	1件	0件	0件	0件	1件

②知能情報工学科

知能情報工学科	学術論文	著書	その他の論文	特許	合計
平成22年(21人)	47	0	48	3	98
平成23年(21人)	29	1	56	5	91

富山大学工学部 分析項目 I

平成 24 年 (19 人)	25	1	29	6	61
平成 25 年 (20 人)	33	1	25	5	64
平成 26 年 (19 人)	42	0	19	7	68
平成 27 年 (17 人)	25	1	53	0	79
合 計	201	4	230	26	461

知能情報工学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成 22 年	1 件	0 件	1 件	1 件 (1 カ国)	3 件
平成 23 年	0 件	0 件	4 件	1 件 (1 カ国)	5 件
平成 24 年	1 件	0 件	0 件	2 件 (1 カ国)	6 件
				3 件 (3 カ国)	
平成 25 年	3 件	0 件	2 件	0 件	5 件
平成 26 年	1 件	2 件 (PCT 出願)	4 件	0 件	7 件
平成 27 年	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

③機械知能システム工学科

機械知能システム工学科	学術論文	著書	その他の論文	特許	合計
平成 22 年 (27 人)	14	0	0	2	16
平成 23 年 (25 人)	15	2	2	7	26
平成 24 年 (24 人)	11	1	2	4	18
平成 25 年 (25 人)	36	2	3	1	42
平成 26 年 (24 人)	17	2	4	1	24
平成 27 年 (22 人)	34	0	6	4	44
合 計	127	7	17	19	170

富山大学工学部 分析項目 I

機械知能システム工学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成 22 年	1 件	0 件	1 件	0 件	2 件
平成 23 年	5 件	0 件	2 件	0 件	7 件
平成 24 年	2 件	0 件	1 件	1 件 (1 カ国)	4 件
平成 25 年	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
平成 26 年	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件
平成 27 年	3 件	0 件	1 件	0 件	4 件

④生命工学科

生命工学科	学術論文	著書	その他の 論文	特許	合計
平成 22 年 (16 人)	12	1	12	4	29
平成 23 年 (16 人)	19	1	13	5	38
平成 24 年 (15 人)	15	2	13	7	37
平成 25 年 (14 人)	25	2	15	9	51
平成 26 年 (14 人)	19	1	6	7	33
平成 27 年 (14 人)	13	1	3	11	28
合 計	103	8	62	43	216

生命工学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成 22 年	3 件	0 件	1 件	0 件	4 件
平成 23 年	4 件	0 件	1 件	0 件	5 件
平成 24 年	6 件	0 件	1 件	0 件	7 件
平成 25 年	3 件	0 件	4 件	2 件 (2 カ国)	9 件
平成 26 年	1 件	0 件	3 件	2 件 (1 カ国)	7 件
				1 件 (2 カ国)	
平成 27 年	5 件	0 件	3 件	1 件 (1 カ国)	11 件
				2 件 (2 カ国)	

⑤環境応用化学科

環境応用化学科	学術論文	著書	その他の論文	特許	合計
平成 22 年 (16 人)	61	2	2	6	71
平成 23 年 (16 人)	55	8	8	9	80
平成 24 年 (14 人)	55	3	0	10	68
平成 25 年 (14 人)	67	2	2	8	79
平成 26 年 (14 人)	67	4	7	3	81
平成 27 年 (17 人)	44	5	6	1	56
合 計	349	24	25	37	435

環境応用化学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成 22 年	2 件	1 件 (PCT 出願)	3 件	0 件 (1 カ国)	6 件
平成 23 年	2 件	0 件	7 件	0 件	9 件
平成 24 年	5 件	1 件 (PCT 出願)	4 件	0 件	10 件
平成 25 年	3 件	0 件	5 件	0 件	8 件
平成 26 年	1 件	1 件 (PCT 出願)	1 件	0 件	3 件
平成 27 年	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件

⑥材料機能工学科

材料機能工学科	学術論文	著書	その他の論文	特許	合計
平成 22 年 (16 人)	88	2	2	4	96
平成 23 年 (13 人)	121	2	2	3	128
平成 24 年 (14 人)	102	3	8	2	115
平成 25 年 (14 人)	56	0	1	2	59
平成 26 年 (12 人)	77	0	0	2	79
平成 27 年 (13 人)	28	0	1	1	30
合 計	472	7	14	14	507

材料機能工学科	国内特許 (出願)	海外特許 (出願)	国内特許 (登録)	海外特許 (登録)	合計
平成 22 年	2 件	0 件	2 件	0 件	4 件
平成 23 年	2 件	0 件	1 件	0 件	3 件
平成 24 年	0 件	0 件	2 件	0 件	2 件
平成 25 年	1 件	0 件	1 件	0 件	2 件
平成 26 年	1 件	0 件	1 件	0 件	2 件
平成 27 年	0 件	0 件	1 件	0 件	1 件

(出典：工学部総務課調査統計資料)

富山大学工学部 分析項目 I

その他、国際的な共同研究や交流を促す取組として、国際会議への積極的な参加、外国との共同研究の推進、学術国際交流及び外国人研究者の招聘等による国際会議・セミナーを開催している（資料1-1-2）。

資料1-1-2 工学部年度別国際共同プロジェクトまたは国際会議報告状況

①国際会議報告状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
電気電子システム工学科	64	45	53	45	20	50
知能情報工学科	12	9	19	12	10	1
機械知能システム工学科	14	16	10	29	41	10
生命工学科	18	21	25	13	11	18
環境応用化学科	31	27	20	14	15	28
材料機能工学科	38	70	51	53	57	40
合 計	177	188	178	166	154	147

②外国との共同研究状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
電気電子システム工学科	1	2	2	1	1	1
知能情報工学科	0	1	1	1	4	1
機械知能システム工学科	0	0	0	0	0	0
生命工学科	2	2	2	2	2	2
環境応用化学科	5	7	7	10	8	6
材料機能工学科	3	6	7	6	6	3
合 計	11	18	19	20	21	13

③国際会議の開催状況

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
電気電子システム工学科	15	9	16	20	23	9
知能情報工学科	2	2	0	1	2	2
機械知能システム工学科	0	0	0	5	3	2
生命工学科	2	1	1	0	2	2
環境応用化学科	1	0	0	0	0	0
材料機能工学科	1	2	2	2	3	1
合 計	21	14	19	28	33	16

（出典：工学部総務課調査統計資料）

科学研究費は、第1期中期目標期間から応募率の向上へ向け、応募者が3年間で平均70%に満たない場合に部局配分を減額する措置が取られている。工学部の取組として毎年度の申請を義務付け、不申請者に年度配分予算を50%とする厳しい方策を取っていることから、応募率の向上に組織的に取組んでいる。

新規課題では、平成23年度以外は採択率24.1%と、第1期比で6ポイント程度向上しており、組織的な取組効果の上昇を証明している（資料1-1-3）。

資料1-1-3 工学部年度別科学研究費補助金申請率と採択率の状況

部局区分	申請 資格者	申請件数		採択件数		交付金額 (千円)	
		申請件数	申請率 (%)	採択 件数	採択率 (%)		
平成22年度	109	新規	97	89.0	20	20.6	116,800
		継続	27	24.8	27	100.0	
		計	124	113.8	47	37.9	

富山大学工学部 分析項目 I

平成 23 年度	112	新規	87	77.7	12	13.8	78,021
		継続	33	29.5	33	100.0	
		計	120	107.1	45	37.5	
平成 24 年度	114	新規	78	68.4	17	21.8	81,152
		継続	27	23.7	27	100.0	
		計	105	92.1	44	41.9	
平成 25 年度	113	新規	87	77.0	20	23.0	129,900
		継続	31	27.4	31	100.0	
		計	118	104.4	51	43.2	
平成 26 年度	118	新規	81	68.6	18	22.2	96,700
		継続	34	28.8	34	100.0	
		計	115	97.5	52	45.2	
平成 27 年度	114	新規	82	73.9	29	35.4	156,650
		継続	33	29.7	33	100.0	
		計	115	103.6	62	53.9	

(千円)

		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
		採 択 件 数	交 付 金 額	採 択 件 数	交 付 金 額	採 択 件 数	交 付 金 額	採 択 件 数	交 付 金 額	採 択 件 数	交 付 金 額	採 択 件 数	交 付 金 額
特定領域研究	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	1	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究 (研究領域 提案型)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	1	10,200	1	10,200	1	6,800	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究 (研究領域 提案型) (継 続の研究領 域)	新規	0	0	1	1,900	0	0	1	2,000	2	6,500	1	2,340
	継続	0	0	0	0	1	1,800	0	0	1	3,000	3	6,500
基盤研究(S)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A) (一般)	新規	0	0	0	0	0	0	1	21,800	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7,200	1	4,160
基盤研究(B) (一般)	新規	5	36,700	1	5,300	0	0	4	5,300	1	7,700	3	27,300
	継続	5	14,100	8	19,900	8	21,500	3	32,900	4	10,900	6	17,810
基盤研究(C)	新規	9	15,100	7	12,900	10	19,100	6	13,300	9	19,100	13	28,210
	継続	16	16,200	16	12,620	12	13,100	18	17,800	18	17,100	17	21,580
挑戦的萌芽研 究	新規	1	800	3	6,000	2	3,200	6	13,500	5	10,600	9	21,190
	継続	0	0	1	1,100	4	3,700	4	3,700	7	5,300	4	4,550
若手研究(A)	新規	0	0	0	0	0	0	1	11,700	0	0	1	13,130
	継続	1	7,500	1	3,600	0	0	0	0	1	5,400	1	2,730
若手研究(B)	新規	5	10,100	0	0	5	11,500	1	1,100	1	1,500	2	5,200
	継続	3	3,100	6	4,500	1	452	6	6,800	2	2,400	1	1,950
新規分合計		20	62,700	12	26,100	17	33,800	20	68,700	18	45,400	29	97,370

富山大学工学部 分析項目 I

継続分合計	27	54,100	33	51,921	27	47,352	31	61,200	34	51,300	33	59,280
合計	47	116,800	45	78,021	44	81,152	51	129,900	52	96,700	62	156,650

(出典：富山大学研究振興部)

※教員数については、それぞれ前年度の11月1日時点の人数

※応募件数については、各年度公募締切日時点。

※採択件数・交付金額については、各年度末時点の件数及び金額

※年度途中で転入の教員は、本学での受入額が0の場合は含めず。

その他の外部資金を、資料1-1-4に示す。教員は、獲得への情報提供と同時に、積極的応募が常に要請されている。その結果、種々の外部資金の受入件数および金額は、毎年高水準を維持し成果が現れている。第1期と比べ、奨学寄付金は同程度の受入件数・金額の高水準を保っている。受託研究と共同研究では、受入件数が平均で1.7倍（17.0件/年：第1期→28.8件/年：第2期）と1.1倍（66.5件/年：第1期→75.7件/年：第2期）と、各々増加しており、また受入金額についても平均で2.3倍（75,525千円：第1期→174,059千円：第2期）と1.3倍（62,006千円：第1期→83,663千円：第2期）まで、各々増加している。

資料1-1-4 工学部年度別外部資金獲得状況

①奨学寄附金受入実績

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受入件数(件)	58	48	102	96	125	102
受入金額(円)	35,632,099	56,651,282	53,286,003	54,540,056	60,092,212	76,415,487

②受託研究実施実績

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施件数(件)	25	27	36	36	30	19
受入金額(円)	125,362,610	112,523,458	182,055,201	277,298,292	208,119,626	138,992,200

③共同研究実施実績

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
実施件数(件)	74	78	76	65	81	80
受入金額(円)	88,433,460	88,161,587	71,563,504	89,182,952	78,204,600	86,433,200

(出典：工学部総務課調査統計資料)

工学部教員が所属する学会・研究会を資料Bに、工学部教員が富山県内で運営した学術集会所を資料Cに示す。工学部教員の活動が、様々な学会等や活動を通じ、世の中に貢献している状況が窺える。

資料B：工学部教員が所属する主な学会・研究会

(国内学会)

日本物理学会、応用物理学会、天文学会、日本音響学会、日本磁気学会、日本原子力学会、原子衝突学会、プラズマ・核融合学会、日本金属学会、日本真空学会、日本液晶学会、電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、映像情報メディア学会、画像電子学会、計測自動制御学会、人工知能学会、日本シミュレーション学会、日本AEM学会、照明学会、日本機械学会、電気設備学会、精密工学会、日本ロボット学会、日本燃焼学会、日本非破壊検査協会、日本材料強度学会、日本伝熱学会、日本化学会、日本生化学会、化学工学会、化学とマイクロ・ナノシステム学会、石油学会、触媒学会、電気化学会、日本分析化学会、高分子学会、日本薬学会、日本分子生物学科、日本生物物理学会、日本生理学会、日本神経科学学会、日本生物工学会、日本生体医工学会、日本材料学会、日本金属学会、日本環境毒性学会、日本鉄鋼協会、軽金属学会、パワーエレクトロニク

ス学会，ライフサポート学会，介護理工学会，日本セラミックス協会，日本鑄造工学会，粉体工学会，日本工学教育協会，有機 EL 討論会，日本超音波医学会，日本シミュレーション&ゲーミング学会，日本計算工学会，日本循環器学会，日本感性工学会，日本設計工学会，日本トライボロジー学会，ターボ機械協会，日本流体力学学会，日本混相流学会，日本応用数理学会，日本計算数理工学会，日本熱物性学会，日本エネルギー・資源学会，日本冷凍空調学会，日本航空宇宙学会，米国航空宇宙学会（AIAA），日本塑性加工学会，可視化情報学会，北陸流体工学研究会，日本分光学会，日本人類遺伝学会，日本癌学会，SAM 研究会，日本薬理学会，日本分子生物学会，日本疼痛学会，日本再生医工学会，日本人工臓器学会，日本バイオマテリアル学会，日本組織培養学会，日本炎症・再生医学会，日本農芸化学会，有機合成化学協会，植物細胞分子生物学会，日本水環境学会，ゴマ科学会，日本医療機器学会，日本エアロゾル学会，分離技術会，日本ソノケミストリー学会，化学センサ研究会，システム制御情報学会，錯体化学会，分子科学会，日本エネルギー学会，石油化学会，エネルギー・資源学会，ゼオライト学会，セルロース学会，日本再生医療学会，糖質学会，廃棄物資源循環学会，化学史学会，日本DME 協会，分子シミュレーション研究会，近畿化学協会有機金属部会，おかやまバイオアクティブ研究会，Tissue Engineering and Regenerative Medical International Society，日本結晶学会，スマートプロセス学会，日本ダイカスト協会，腐食防食学会，日本マグネシウム協会，日本顕微鏡学会，日本熱測定学会，摩擦接合技術協会，軽金属溶接協会，溶接学会，日本バイオレオロジー学会

(海外の学会)

米国物理学会，米国化学会，米国真空学会，米国天文学会，米国地球物理学会，米国音響学会，IEEE，EURASIP，IS&T，Audio Engineering Society，情報ディスプレイ学会，国際行動神経科学学会，北米神経科学学会，米国化学工学会，米国セラミックス学会，The Minerals, Metals & Materials Society，米国ペプチド学会，International Water Association，欧州マイクロ波協会，中国環境学会，International Micrographic Society，X線データ学会，International Association of Advanced Materials (IAAM)，国際ヘテロ環学会，ASM International(アメリカ)，TMS(アメリカ)，American Physical Society

(出典：工学部自己点検評価委員会にて調査)

資料 C：工学部教員が富山県内で運営した主な学術集会

電気電子システム工学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
22 5 20 ～ 5 21	平成22年度電気化学会北陸支部春季大会	富山県工業技術センター他	電気電子システム工学科 鈴木正康	北陸三県	7	15	22	
22 5 21	電子情報通信学会MEとバイオサイバネティックス研究会	富山大学工学部	電気電子システム工学科 中島 一樹	全国	30	10	40	
22 6 22 ～ 6 25	第3回有機・無機電子材料とナノテクノロジーに関する国際シンポジウム	富山国際会議場	電気電子システム工学科 岡田 裕之	国際	20	230	250	
22 8 8	電気学会 サイエンスボランティア「青少年のための科学の祭典・高岡大会」	高岡市ふれあい福祉セン	電気電子システム工学科 飴井 賢治	県内	1300	0	1300	
22 12 10	電気学会 北陸支部シンポジウム「太陽光・風力・小水力発電の技術動向と課題」	富山大学黒田講堂	電気電子システム工学科 飴井 賢治	北陸三県	186	11	197	

富山大学工学部 分析項目 I

平成23年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
23 5 20	電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会	富山大学工学部	電気電子システム工学科 中島 一樹	全国	30	10	40	
23 5 27 ～ 5 28	電気学会プラズマ研究会	富山大学黒田講堂	電気電子システム工学科 伊藤弘昭	全国	20	60	80	
23 9 7 ～ 9 9	電気学会電子・情報・システム部門大会	富山大学五福キャンパス	電気電子システム工学科 作井正昭	全国	30	600	630	

平成24年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
24 5 16 ～ 5 18	電磁力関連に関するダイナミクスシンポジウム	富山国際会議場	電気電子システム工学科 作井正昭、大路貴久、船井賢治	全国	20	200	220	
24 5 25	電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会	富山大学工学部	電気電子システム工学科 中島 一樹	全国	30	10	40	
24 6 29	有機・無機エレクトロニクスシンポジウム	富山国際会議場	電気電子システム工学科 岡田 裕之	北陸・信越支部	20	32	52	
24 11 8 ～ 11 9	電気化学会北陸支部創立50周年記念大会	宇奈月温泉・セレネ他	電気電子システム工学科 鈴木正康	全国	11	34	45	
24 11 16 ～ 11 17	平成24年度応用物理学会北陸・信越支部学術講演会	富山県民会館	電気電子システム工学科 岡田 裕之	北陸・信越支部	20	126	146	

平成25年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
25 4 19	電気学会公開シンポジウム	富山大学黒田講堂	電気電子システム工学科 作井正昭、伊藤弘昭	北陸三県	236	53	289	
25 8 9 ～ 8 10	電子情報通信学会、電子デバイス研究会	富山大学	電気電子システム工学科 前澤宏一	全国	15	10	25	

平成26年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
26 4 18	電子情報通信学会 環境電磁工学研究会	富山大学工学部大会議室	電気電子システム工学科 小川晃一	全国	5	25	30	
26 5 20	電子情報通信学会北陸支部第4回運営委員会	オークスカナルパークホテル富山	電気電子システム工学科 坂上岩太	北陸三県	4	20	24	
26 5 24	電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会	富山大学工学部	電気電子システム工学科 中島 一樹	北陸三県	40	10	50	
26 5 25	ROBOMECH2014	富山市総合体育館、富山国際会議場	電気電子システム工学科 戸田 英樹(主催:産総研 柴田)	全国	—	2000	2000	
26 5 26 ～ 5 28	ロボティクス・メカトロニクス講演会2014 in Toyama	富山市総合体育館	電気電子システム工学科 チャピ ゲンツイ	全国	—	—	900	
26 10 23	電子情報通信学会 ヘルスケア・医療情報通信技術研究会	富山大学工学部大会議室	電気電子システム工学科 小川晃一	全国	5	15	20	

富山大学工学部 分析項目 I

26	10	30	パワーアカデミー 「第10回若手教員／研究者支援活動 (YPAN)」	富山大学 共通教育棟A 棟 会議室	電気電子システム工学科 飴井賢治	全国	5	18	23	
26	11	7	平成26年度応用物理学会北 陸・信越支部学術講演会	富山大学	電気電子システム工学科 岡田 裕之	北陸・ 信越 支部	20	90	110	
26	11	8								
26	11	28	IEEE AP-S MTT-S Nagoya Chapter, Midland Student Express, Autumn	富山大学工学 部大会議室	電気電子システム工学科 小川晃一	中部 地区	10	15	25	

平成27年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名 称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数 (人)			備考		
					県内	県外	合計			
27	5	28 29	M&BE応用物理学会 有機分子・ バイオエレクトロニクス分科 会 研究会	富山大学 黒 田講堂 議 室	電気電子システム工学科 中 茂樹	全国	3	21	24	
27	7	29	電子情報通信学会 有機エレクト ロニクス研究会	富山大学工 学部	電気電子システム工学科 中 茂樹	全国	6	14	20	
27	11	9	ロボティクス, ビジョン, セ ンシング, 制御, ジョイ ント ワークショップ	富山大学工 学部	電気電子システム工学科 チャピ ゲンツイ	県内	30	0	30	
27	11	10 11	28th International Microprocesses and Nanotechnology Conference	富山国際 会 議場	電気電子システム工学科 小野 行徳	国際	5	500	505	
27	12	12	日本生体医工学会北陸支部大 会	富山駅前C I Cビル	電気電子システム工学科 中村 真人	北陸	30	22	52	
27	1	28 29	発光型／非発光型ディスプレ イ合同 研究会	富山大学 黒田講堂 議 室	電気電子システム工学科 岡田 裕之	全国	5	40	45	

知能情報工学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名 称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数 (人)			備考		
					県内	県外	合計			
22	8	27	電子情報通信学会 イメージ・メディア・クオリ ティ研究会 (IMQ)	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	12	28	40	

平成23年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名 称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数 (人)			備考		
					県内	県外	合計			
23	11	25	電子情報通信学会 イメージ・メディア・クオリ ティ研究会 (IMQ)	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	10	15	25	
24	3 ~ 3	12 13	電子情報通信学会 画像工学研究会研究会 (IE/MVE共 催)	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	16	120	136	

平成24年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名 称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数 (人)			備考		
					県内	県外	合計			
24	9 ~ 9	11 14	電子情報通信学会ソサエティ 大会	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	80	7505	7585	

富山大学工学部 分析項目 I

平成25年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
25 6 4 ～ 6 7	2013年度人工知能学会全国大会	富山国際会議場、富山市民プラザ、富山商工会議所	知能情報工学科 広林茂樹, 参沢匡将, 柴田啓司	全国	—	—	1000	
25 10 3	平成25年度 情報処理学会北陸支部 研究講演会	富山大学	知能情報工学科 参沢匡将	全国	84	4	88	
25 10 3	平成25年度 電子情報通信学会北陸支部講演会	富山大学	知能情報工学科 参沢匡将	全国	82	4	86	

平成26年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
26 8 1	電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	10	20	30	
26 12 9 ～ 12 12	第37回 情報理論とその応用シンポジウム	宇奈月ニューオータニ	知能情報工学科 田島 正登	全国	5	200	205	
27 1 28	JETRO富山主催「医薬品等産業における人材育成セミナー・交流会」	ANA	知能情報工学科 田端 俊英	日本, フランス	20	10	30	
27 2 6	富山大学ファーマメディカルエンジニア養成プログラム第1回シンポジウム	富山大学黒田講堂	知能情報工学科 田端 俊英	全国	110	10	120	

平成27年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
27 5 22	電子情報通信学会イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)	富山大学	知能情報工学科 堀田裕弘	全国	10	20	30	

機械知能システム工学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
23 3 9	北陸流体工学研究会	富山大学	機械知能システム工学科 川口清司	北陸三県	40	40	80	

平成24年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
24 5 30 ～ 6 1	第49回日本電熱シンポジウム	富山国際会議場	委員長 石塚勝 (富山県立大学) 実行委員 平澤良男	全国	20	717	737	
24 7 5 ～ 7 6	第44回流体力学講演会/航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム2012	富山国際会議場	日本航空宇宙学会およびJAXA 運営委員(現地幹事) 松島紀佐	全国	6	235	241	
24 9 28 ～ 9 29	日本設計工学会秋季研究発表講演会	富山国際会議場	富山県立大・富山大 実行委員長 富山県立大 春山義夫	全国	20	120	140	

平成25年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
25 10 20 ～ 10 22	第34回日本熱物性シンポジウム	富山県民会館	機械知能システム工学科 平澤 良男	全国	25	225	250	
26 3 7	日本機械学会 北陸信越支部学生会第43回学生員卒業研究発表講演会	富山大学	機械知能システム工学科 木村弘之	北信越	60	170	230	

平成26年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
26 5 25 ～ 5 29	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2014 (ROBOMECH2014)	富山市総合体育館	日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 実行委員：神代充，笹木亮，関本昌紘，チャビゲンツイ，戸田英樹	全国	600	1400	2000	
26 10 25 ～ 10 26	日本機械学会流体工学部門講演会	富山大学	機械知能システム工学科 実行委員長 川口清司，実行委員 松島	全国	50	370	420	
27 2 23	北陸流体工学研究会	富山大学	機械知能システム工学科 川口清司	北陸三県	40	40	80	

平成27年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
27 5 9	日本伝熱学会北陸信越支部春季セミナー	富山大学工学部	機械知能システム工学科 平澤良男	北信越	25	55	80	
27 5 19 ～ 5 21	The International Forum on MicroManufacturing & Biofabrication'15 (IFMM'15 & IFBF'15)	富山国際会議場	機械知能システム工学科 Prof. Kuniaki Dohda、組織委員長 高辻則夫	—	—	—	100	
27 6 27	日本設計工学会北陸支部研究発表講演会	富山大学工学部	機械知能システム工学科 小熊規泰	北陸三県	15	55	70	
27 11 20	第13回日本流体力学会中部支部講演会	富山大学工学部	機械知能システム工学科 川口清司	中部	30	20	50	
27 11 20	特別講演会「3Dプリンタ革命と、その後のものづくりについて」機械学会・精密工学会	富山大学工学部	機械知能システム工学科 笹木亮 創造工学センター 田代発造	県内	75	0	75	

生命工学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
22 10 12 ～ 10 14	The 1st Toyama-Basel Joint Symposium on Pharmaceutical Research and Drug	富山国際会議場	生命工学科 篠原寛明 (実行委員)	国際	150	250	400	

平成23年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加 範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
23 10 6 ～ 10 8	International Conference on Biofabrication 2011 in Toyama	富山市国際会議場	生命工学科 中村真人	学会員他一般	30	100	130	

富山大学工学部 分析項目 I

平成24年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
24 11 8 ~ 11 9	電気化学会北陸支部創立50周年記念大会	宇奈月温泉延対寺荘・宇奈	生命工学科 篠原寛明(実行委員)	北越	20	25	45	

平成25年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
25 12 19	平成25年度 生命融合科学教育部シンポジウム	パレプラン高志会館	生命工学科 川原茂敬	県内大学・企業	116	6	122	

平成26年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
26 5 15 ~ 5 16	平成26年度電気化学会北陸支部春季大会	湯神子温泉(中新川郡)	生命工学科 篠原寛明	北越	18	4	22	
26 8 12	The 3rd Toyama-Base Joint Symposium on Phamaceutical Research and Drug	富山国際会議場	生命工学科 篠原寛明(実行委員)	国際	150	250	400	

平成27年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
27 5 18 ~ 5 21	International Forum on Micromanufacturing and Biofabrication 2015	富山国際会議場	生命工学科 中村 真人 機械知能システム工学科 高辻則夫	国際	20	40	60	
28 3 9	PME養成プログラム第2回公開シンポジウム	工学部新棟多目的ホール	生命工学科 篠原 寛明	全国	145	5	150	

環境応用化学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
22 10 6 ~ 10 9	The 7th International Symposium on the Chemistry and Biological Chemistry of Vanadium - V7 Symposium -	富山市民プラザ	環境応用化学科 會澤 宣一(組織委員)	国際	10	198	208	

平成23年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
24 2 20	北陸信越工業教育協会富山県支部平成23年度講演会	富山大学工学部	環境応用化学科 加賀谷重浩	県内	80	0	80	

平成24年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
24 9 21 ~ 9 23	錯体化学会62回討論会	富山大学	環境応用化学科 會澤 宣一(事務局長)	全国	15	1030	1045	

富山大学工学部 分析項目 I

平成25年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
25 7 1 25 7 2	日本分析化学会中部支部平成25年度北陸地区講演会	富山大学工学部	環境応用化学科 遠田 浩司(実行委員長), 加賀谷重浩(実行委員, 庶務)	北陸三県	—	—	128	
25 12 13	高分子学会北陸支部地区講演会	富山大学工学部	環境応用化学科 源明 誠(実行委員長)	県内	36	3	39	
25 12 16	第2回日本バイオマテリアル学会北陸若手研究発表会	富山大学理学部	環境応用化学科 中路 正(実行委員長)	北陸三県, 関西	18	44	62	

平成26年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
26 9 4 ~ 9 5	日本分析化学会中部支部第33回分析化学中部夏期セミナー	いこいの村 磯波風	環境応用化学科 遠田 浩司(実行委員長), 加賀谷重浩(実行委員, 庶務), 菅野 憲(実行委員)	中部六県	35	66	101	
26 11 21	日本化学会近畿支部平成26年度北陸地区講演会と研究発表会	富山大学黒田講堂学生会館	環境応用化学科 會澤 宣一(実行委員長), 宮崎章(実行委員)	北陸三県, 京都, 滋賀	133	139	272	
26 11 22 ~ 11 23	第63回高分子学会北陸支部研究発表会	富山大学理学部	環境応用化学科 北野 博巳(実行委員長), 源明誠(実行委員, 庶務)	北陸三県, 新潟	28	72	100	
26 12 9	触媒学会地区講演会	富山大学水素同位体研究センター	環境応用化学科 米山 嘉治(実行委員長), 椿 範立(実行委員)	全国	50	10	60	

平成27年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
28 1 19	高分子学会北陸支部地区講演会	富山大学工学部	環境応用化学科 中路 正(実行委員長)	県内	50	10	60	

材料機能工学科

平成22年度

開催日 年 月 日	会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
					県内	県外	合計	
22 6 24	軽金属学会北陸支部春期講演会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	60	10	70	
22 7 12	日本鉄鋼協会北陸信越支部湯川記念講演会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田 健二	北陸信越	27	25	52	
22 9 12 ~ 9 16	JCNCS2010	富山第一ホテル	材料機能工学科 池野進	国際	45	17	62	
22 10 8	富山大学大37回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 池野進	県内	41	0	41	
22 11 19	軽金属学会北陸支部秋期講演会	高岡JA会館	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	65	15	80	
22 12 4	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会	富山大学工学部	材料機能工学科 池野進	北陸信越	50	300	350	
23 2 4	富山大学第38回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 池野進	県内(会員制)	40	0	40	

平成23年度

開催日			会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
年	月	日					県内	県外	合計	
23	6	9	軽金属学会北陸支部春期講演会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	60	10	70	
23	7	4	日本鉄鋼協会北陸信越支部湯川記念講演会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田 健二	北陸信越	20	25	45	
23	10	4	富山大学第39回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	35	0	35	
23	11	25	軽金属学会北陸支部秋期講演会 60周年記念大会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	90	25	115	
23	11	25	日本セラミックス協会北陸支部 秋季研究発表会	ウイングウイング高岡	材料機能工学科 佐伯 淳	北陸三県	10	30	40	
24	2	14	富山大学第40回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	52	0	52	

平成24年度

開催日			会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
年	月	日					県内	県外	合計	
24	5	18 ～ 5 19	日本軽金属学会 第124回全国大会	富山大学	材料機能工学科 松田健二	全国	74	700	774	
24	6	15	軽金属学会北陸支部春期講演会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田健二	北陸三県	60	10	70	
24	7	31	日本鉄鋼協会北陸信越支部湯川記念講演会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田健二	北陸信越	20	25	45	
24	10	3	富山大学第41回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田健二	県内(会員制)	35	0	35	
24	11	19	軽金属学会北陸支部秋期講演会	高岡JA会館	材料機能工学科 松田健二	北陸三県	65	15	80	
25	2	12	富山大学第42回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	52	0	52	

平成25年度

開催日			会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
年	月	日					県内	県外	合計	
25	5	18 ～ 5 19	日本軽金属学会 第124回全国大会	富山大学	材料機能工学科 松田健二	全国	74	700	774	
25	7	29	日本鉄鋼協会北陸信越支部湯川記念講演会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田健二	北陸信越	20	25	45	
25	10	2	富山大学第43回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田健二	県内(会員制)	35	0	35	
25	11	22	軽金属学会北陸支部秋期講演会	高岡JA会館	材料機能工学科 松田健二	北陸三県	65	15	80	
26	2	10	富山大学第44回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	52	0	52	

平成26年度

開催日			会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)			備考
年	月	日					県内	県外	合計	
26	6	25	軽金属学会北陸支部春期講演会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	65	15	80	
26	7	25	日本鉄鋼協会北陸信越支部湯川記念講演会	富山第一ホテル	材料機能工学科 松田 健二	北陸信越	20	25	45	
26	10	6	富山大学第45回材料研究会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	35	0	35	
26	11	14	日本セラミックス協会北陸支部 秋季研究発表会	富山大学工学部	材料機能工学科 佐伯 淳	北陸三県	26	30	56	
26	11	28	軽金属学会北陸支部秋期講演会	高岡JA会館	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	70	15	85	
27	2	9	富山大学材料研究会第46回研究発表会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	35	0	35	

平成27年度

開催日			会議・大会・イベント等の名称	開催場所	運営責任者	参加範囲	参加予定者数(人)		
年	月	日					県内	県外	合計
27	7	9	軽金属学会北陸支部平成27年度春期講演会・中堅企業支援セミナー	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	北陸三県	70	15	85
27	9	16	日本セラミックス協会第28回秋季シンポジウム	富山大学工学部	材料機能工学科 佐伯 淳	全国	200	1000	1200
27	10	6	富山大学材料研究会第47回研究発表会	富山大学工学部	材料機能工学科 松田 健二	県内(会員制)	35	0	35

(出典：工学部総務課調査統計資料)

(2) 分析項目の水準及びその判断理由

(水準)

期待される水準を上回る。

(判断理由)

教員は、資料Bの様に第1期中期目標期間に比べ多くの学会に所属し幅広い分野で活動している。平成22年4月から平成27年3月までに論文・著書等や学会等で発表や特許など年度別の研究業績は資料1-1-1, 資料1-1-2の様に、第1期に比べて論文数(999編/4年間⇒1,660編/年間), 著書(88編/4年間⇒80編/6年間), その他の論文(712編/4年間⇒875編/6年間), 特許(112件/6年間⇒195件/6年間)と大いに成果が上がっていると判断される。

その他にも第1期に比べて、国際会議報告状況(593件/4年間⇒1,010件/6年間), 国際的共同研究(148件/4年間⇒102件/6年間)・国際会議開催(9件/4年間⇒131件/6年間), 学術国際交流及び外国人研究者の招聘等によるセミナーを積極的に行っている。

科学研究費では、資料1-1-3の様に、応募率向上の方策が全学的に採用されており、応募率及び採択件数の向上に関する組織的取組として効果を上げている。特に第1期に比べて、採択率が6ポイント程度向上していることは、特筆に値する。

その他の外部資金については資料1-1-4に示すように、外部資金獲得に関連する各種情報の提供と同時に、積極的な応募を促し、奨学寄付金、受託研究並びに共同研究の受け入れ件数が順調に伸び、成果が現れている。受託研究と共同研究では、受入件数が平均

富山大学工学部 分析項目Ⅰ・分析項目Ⅱ

で1.7倍(17.0件/年:第1期→28.8件/年:第2期)と1.1倍(66.5件/年:第1期→75.7件/年:第2期)と、各々増加しており、また受入金額についても平均で2.3倍(75,525千円:第1期→174,059千円:第2期)と1.3倍(62,006千円:第1期→83,663千円:第2期)まで、各々増加している。これらの教育研究成果も相まって、平成27年4月には工学部敷地内に面積6,260㎡の総合教育研究棟が竣工され、今後の教育研究活動の活性化へ向けた利用と成果創出が期待されている。また、文部科学省科学技術人材育成費補助金 テニユアトラック普及・定着事業での教員が工学部へ再配置されるなど、研究者の資質向上に一役買っている。さらに工学部では、若手教員を海外に半年から1年間程度、長期出張させる制度を独自に制定し、教員の研究者としての資質向上も行っている。

また、大学ランキング2017(朝日新聞出版、2016年4月25日発行)における論文引用度指数の分野別(トムソンロイター調べ、2010年~2014年)において、「工学」分野で富山大学が引用度指数118.2と全国1位であることより、本中期目標期間中に掲載された論文の質がかなり高いことが示されている。

以上より、目的に照らし、研究活動の実施状況、研究資金の獲得状況等、研究活動の活性の度合いを示す客観的な数値データからみて、研究活動は活発に行われており、期待される水準を上回ると判断される。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

観点 研究成果の状況

(観点に係る状況)

工学部は、材料科学、化学、核融合学、環境・エネルギーや情報通信を中心とした社会インフラ等の工学分野並びに医薬理工連携による臨床診断、予防・治療の材料・機器や医薬品の開発等のバイオテクノロジー分野の先端的研究推進の目的を持ち、従来の工学分野に加え、本学の特徴である医薬理工連携の生命融合科学分野でも特色を有している。

したがって、総合系では情報学(情報学基礎、人間情報学、情報学フロンティア)や社会・安全システム科学など、理工系では応用物理学、化学(基礎化学、複合化学、材料化学)、工学(機械工学、電気電子工学、材料工学、プロセス・化学工学、航空宇宙学)など、生物系では神経科学やゲノム科学、薬学などの研究分野が重要であると考えている。

よって、ミッションの再定義で決定した研究目的に合致し、外部評価が比較的高い代表的な研究成果という判断基準で研究業績を選定した結果、学術的意義のある研究業績として、学部を代表する優れたSSならびにSクラスの研究業績から精選して、SS業績2件、S業績15件を上げた。(研究業績説明書(II表))

また、社会・経済・文化的意義のある業績もSSならびにSとして挙げられている(SS6件、S7件)。

以下に、選定した研究テーマについて列挙する。

- ① 情報学(情報学基礎、人間情報学、情報学フロンティア)
超精度3次元信号解析技術の開発【業績番号1】
- ② 社会・安全システム科学
各種災害に対する情報センシングとハザードマップによる情報配信に関する研究開発

【業績番号 2】

- ③ 化学（基礎化学，複合化学，材料化学）
液体界面の構造・分光・輸送の理論研究，再生・再利用可能な炭素-炭素結合 Pd 触媒の開発に関する研究，触媒的ジェミナルバイメタリック中間体の発生法と高効率分子変換反応の開拓，近傍水の構造評価に基づく高分子材料の特性解析【業績番号 4，5，6，7】
- ④ 工学（機械工学）
ステンレス鋼の熱処理と機械要素への適用【業績番号 8】
- ⑤ 工学（電気電子工学）
交流アンペール式磁気浮上システムの研究，双方向スイッチを用いた単相マルチレベルインバータの高効率化，人と社会インフラが連携する医療 ICT ネットワークの構築に向けた人体・伝搬影響適応制御ウェアラブルアンテナと OTA 評価方法に関する研究開発【業績番号 9，10，11】
- ⑥ 工学（材料工学）
ミュオンスピン緩和を利用した原子空孔挙動の工業的評価法の開発，軽量化ならびに高機能化を具現化する軽金属材料および鋳造法の研究，アルミニウム合金の時効析出ならびに微細化合物のナノ構造解析に関する研究，ジメチルエーテル(DME)の一段合成研究【業績番号 12，13，14】
- ⑦ 工学（プロセス・化学工学）
単一細胞由来抗体迅速発現単離システムの開発，Bioprinting, Biofabrication の研究，ジメチルエーテル(DME)の一段合成研究【業績番号 3，15，16】
- ⑧ 工学（航空宇宙学）
次世代超音速旅客機の空力設計に関する研究【業績番号 17】
- ⑨ 生物系では神経科学やゲノム科学
不整脈のポスト・ゲノム解析の研究，脳シナプス可塑性の研究と脳回路の発達の研究【業績番号 18】

各賞の受賞状況及び国際会議報告・講演として，工学部（理工学研究部（工学））では広範囲の研究成果が得られているが，平成 24 年度のとやま賞を始め平成 22 年度以降，各年度の所属学会の論文賞をはじめ各種の賞を受賞している（資料 2-1-1）。

さらに，資料 1-1-2 に示すように，第 1 期よりも多い毎年 170 件程度の国際会議への報告・講演が継続的に行われ，また，各種国際共同研究プロジェクトも年平均 10~20 件，国際会議の主催数も年平均 20~30 件程度に次第に増えていることから，第 1 期に比べて研究活動の国際化と同時に活発に研究推進されていることが明らかである。

資料 2-1-1 年度別各賞受賞状況

- ①電気電子システム工学科
平成 22 年度

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

電気電子システム 工学科	作井正昭	電気学会フェロー 平成 22 年 5 月
電気電子システム 工学科	坂上岩太	電気関係学会北陸支部連合大会優秀論文発表賞 平成 22 年 9 月
電気電子システム 工学科	坂上岩太	電気関係学会北陸支部連合大会優秀論文発表賞
電気電子システム 工学科	チャピ ゲンツイ	3rd International Conference on Advances in Mechanical Engineering (ICAME 2010), Best innovation award 平成 22 年 12 月
電気電子システム 工学科	岡田裕之	平成 22 年度応用物理学会北陸・信越支部発表奨励賞 平成 23 年 2 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	ライフサポート学会研究奨励賞 平成 23 年 3 月

平成 23 年度

電気電子システム 工学科	森 雅之, 前澤宏一	電気学会 電子・情報・システム部門大会優秀ポスター賞 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	坂上岩太	電気関係学会北陸支部連合大会優秀論文発表賞 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	大路貴久	日本磁気学会学術奨励賞 (内山賞) 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	大路貴久	日本磁気学会学生講演賞 (桜井講演賞) 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	大路貴久	電気設備学会全国大会発表奨励賞 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	チャピ ゲンツイ	Journal of Information Technology Research 2011, Excellence in research journal award 平成 23 年 9 月
電気電子システム 工学科	岡田裕之, 中 茂樹	IDW11 Outstanding Poster Awards 平成 23 年 12 月
電気電子システム 工学科	伊藤弘昭	電気学会優秀論文発表賞 平成 24 年 1 月
電気電子システム 工学科	飴井賢治	電気学会北陸支部優秀論文発表賞 B 平成 24 年 1 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	ライフサポート学会研究奨励賞 平成 24 年 3 月
電気電子システム 工学科	山崎登志成	Best Poster (ISSP 2011)

平成 24 年度

電気電子システム 工学科	前澤宏一	JJAP/APEX Editorial Contribution Award 平成 24 年 4 月
電気電子システム 工学科	小川晃一	電子情報通信学会 論文賞 平成 24 年 5 月
電気電子システム 工学科	作井正昭	電気学会電子・情報・システム部門貢献賞 平成 24 年 9 月
電気電子システム 工学科	小川晃一	International Symposium on Antenna and Propagation Best Paper Award Finalist 平成 24 年 10 月
電気電子システム 工学科	大路貴久	日本 AEM 学会論文賞 平成 24 年 12 月

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

電気電子システム 工学科	伊藤弘昭	電気学会優秀論文発表賞 平成 25 年 1 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	ライフサポート学会研究奨励賞 平成 25 年 3 月

平成 25 年度

電気電子システム 工学科	チャピ ゲンツィ	International Conference on Advances In Computer and Electronics Technology - ACET 2013, Best paper award 平成 25 年 8 月
電気電子システム 工学科	飴井賢治	第 27 回電気学会産業応用部門大会 (JIASC13) YPC 受賞 平成 25 年 8 月
電気電子システム 工学科	飴井賢治	IEEE IAS Young Engineer Competition Award 2013 平成 25 年 8 月
電気電子システム 工学科	坂上岩太	2013 IEEE MTT-S Japan Young Engineer Award 平成 25 年 12 月

平成 26 年度

電気電子システム 工学科	中 茂樹	Organic Electronics 2013 Certificate of Excellence in Reviewing 平成 26 年 5 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	電気関係学会北陸支部連合大会優秀論文発表賞 平成 26 年 5 月
電気電子システム 工学科	小川晃一	International Workshop on Electromagnetics (iWEM2014) Student Innovation Competition Award Finalist 平成 26 年 8 月
電気電子システム 工学科	森 雅之, 前澤宏一	2 回有機・無機エレクトロニクスシンポジウムポスターアワード 平成 26 年 9 月
電気電子システム 工学科	森 雅之, 前澤宏一	電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティレター論文賞 平成 26 年 9 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	計測自動制御学会北陸支部学生奨励賞 平成 26 年 9 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	Student Paper Award (IBEC2014) 平成 26 年 11 月
電気電子システム 工学科	安藤彰男	公益社団法人発明協会 発明奨励賞 平成 26 年 11 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	日本生体医工学会北陸支部研究敢闘賞 平成 26 年 12 月
電気電子システム 工学科	飴井賢治, 大路貴久	電気学会北陸支部優秀論文発表賞 B 平成 27 年 1 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	ライフサポート学会研究奨励賞 平成 27 年 3 月
電気電子システム 工学科	中島一樹	計測自動制御学会北陸支部優秀学生賞 平成 27 年 3 月

平成 27 年度

電気電子システム 工学科	小川晃一	電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会 功労賞 平成 27 年 6 月
電気電子システム 工学科	小川晃一	電気関係学会北陸支部連合大会 電子情報通信学会学生優秀論文発表賞 平成 27 年 9 月
電気電子システム 工学科	チャピ ゲンツィ	Best Paper Finalist 平成 27 年 10 月

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

電気電子システム 工学科	小川晃一	IEEE AP-S Japan Student Award 平成 27 年 12 月
-----------------	------	--

②知能情報工学科 平成 22 年度

知能情報工学科	柴田啓司, 堀田裕弘	第 9 回 ITS シンポジウム 2010 ベストポスター賞
知能情報工学科	Shibata Keiji, Horita Yuukou	2011 IEEE International Conference on Consumer Electronics(ICCE) IEEE CE Japan Chapter ICCE Young Scientist Paper Award
知能情報工学科	高松衛	照明学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	田端俊英	3 大学ものづくりアイデアコンテスト佳作
知能情報工学科	田端俊英	地域産学連携イベント「コラボフェスタ 2010」最優秀賞
知能情報工学科	田端俊英	日本ナショナルインスツルメンツ株式会社アплика ションコンテスト 2010 参加賞
知能情報工学科	酒井 充, 広瀬貞樹	情報処理学会北陸支部優秀論文発表賞

平成 23 年度

知能情報工学科	高松 衛	照明学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 23 年 電気学会 電子・情報・システム部門大会 企 画賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 23 年度 情報処理学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	春木孝之	Outstanding Presentation Award The 30th JSST Annual Conference International Conference on Modeling and Simulation Technology (JSST2011)

平成 24 年度

知能情報工学科	Shibata Keiji, Horita Yuukou	The Society of Instrument and Control Engineers Hokuriku Branch presents the SICE ANNUAL CONFERENCE SICE Hokuriku Young Scientist Encouragement Award
知能情報工学科	Shibata Keiji, Horita Yuukou	The Society of Instrument and Control Engineers Hokuriku Branch presents the SICE ANNUAL CONFERENCE SICE Hokuriku Young Scientist Encouragement Award
知能情報工学科	柴田啓司, 堀田裕弘	平成 24 年度電気関係学会北陸支部連合大会において社団 法人計測自動制御学会北陸支部優秀論文発表賞
知能情報工学科	Keiji Shibata, Yuukou Horita	12th International Conference on ITS Telecommunications ITST2012 Best Paper Award

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

知能情報工学科	稲積泰宏, 堀田裕弘	電気学会 電子・情報・システム部門大会 優秀ポスター賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 24 年度 日本音響学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 24 年度 電子情報通信学会北陸支部学生優秀論文発表賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 24 年度 電子情報通信学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	春木孝之	第 10 回学生ものづくり・アイデア in 富山 最優秀賞
知能情報工学科	春木孝之	第 10 回学生ものづくり・アイデア in 新潟 優秀賞
知能情報工学科	高松 衛	照明学会北陸支部優秀学生賞

平成 25 年度

知能情報工学科	柴田啓司, 堀田裕弘, 作井正昭	電気学会 電子・情報・システム部門大会 優秀ポスター賞
知能情報工学科	柴田啓司, 堀田裕弘, 作井正昭	電気学会 電子・情報・システム部門大会 優秀ポスター賞
知能情報工学科	Shibata Keiji, Horita Yuukou	The Society of Instrument and Control Engineers Hokuriku Branch presents the SICE ANNUAL CONFERENCE SICE Hokuriku Young Scientist Encouragement Award
知能情報工学科	参沢匡将	平成 25 年度 第 75 回情報処理学会全国大会 学生奨励賞
知能情報工学科	参沢匡将	平成 25 年度 電子情報通信学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	酒井 充	照明学会北陸支部学生優秀論文発表賞
知能情報工学科	田端俊英	情報処理学会優秀学生賞
知能情報工学科	高松 衛	照明学会北陸支部優秀学生賞

平成 26 年度

知能情報工学科	柴田啓司, 堀田裕弘, 作井正昭	電気学会 電子・情報・システム部門大会 優秀ポスター賞
知能情報工学科	Yuukou Horita	The Seventh International Workshop on Image Media Quality and its Applications (IMQA2014) IMQA2014 Student Presentation Award
知能情報工学科	春木孝之	第 12 回学生ものづくり・アイデア in 富山 優秀賞
知能情報工学科	春木孝之	第 12 回学生ものづくり・アイデア in 富山 特別賞
知能情報工学科	春木孝之	日本テレビ所さんの目がテン! 第 2 回実験グランプリ グランプリ
知能情報工学科	菊島浩二	総務省 北陸総合通信局「G空間 × ICT 北陸まちづくり トライアルコンクール」グランプリ賞

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

知能情報工学科	佐藤雅弘	日本音響学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	高松 衛	照明学会北陸支部優秀学生賞
知能情報工学科	高松 衛	照明学会北陸支部優秀学生発表
知能情報工学科	稲積泰宏	電子情報通信学会活動功労賞

平成 27 年度

知能情報工学科	堀田裕弘	第 1 4 回情報科学技術フォーラム F I T 奨励賞
---------	------	------------------------------

③機械知能システム工学科

平成 22 年度

機械知能システム工学科	塩澤和章	日本材料学会支部奨学賞, H22. 4
機械知能システム工学科	小熊規泰	日本機械学会支部学生賞 2 件, H23. 3

平成 23 年度

機械知能システム工学科	川口清司	平成 23 年度日本機械学会若手優秀講演フェロー賞 (流体工学部門)
機械知能システム工学科	川口清司	平成 23 年度日本機械学会若手優秀講演フェロー賞 (北陸信越支部)
機械知能システム工学科	川口清司	平成 23 年度日本機械学会北陸信越支部学生賞 (卒業研究発表)
機械知能システム工学科	渡辺大輔, 川口清司	平成 23 年度日本機械学会北陸信越支部学生賞 (卒業研究発表)
機械知能システム工学科	川口清司	平成 23 年度日本機械学会三浦賞

平成 24 年度

機械知能システム工学科	小熊規泰	日本材料学会優秀研究発表賞, H25. 3
機械知能システム工学科	川口清司	平成 24 年度日本機械学会若手優秀講演フェロー賞 (熱工学部門)
機械知能システム工学科	川口清司	平成 24 年度日本機械学会北陸信越支部学生賞 (卒業研究発表)
機械知能システム工学科	川口清司	平成 24 年度日本機械学会三浦賞

平成 25 年度

機械知能システム工学科	木田勝之	日本機械学会北陸信越支部賞 (学生賞卒業研究発表の部) 受賞, PEEK スラスト軸受形状と水中における転がり疲労損傷の観察 ○橋詰 悠稀 (富山大), 小山 峻輔 (九州大), 溝部 浩志郎 (富山大), 鹿島 祐二 (鹿島化学金属), 木田勝之 (富山大), 平成 26 年 3 月 7 日
機械知能システム工学科	木田勝之	IAAM Medal, 2013 年 09 月 17 日, トルコ共和国, 国内外の国際的学術賞, International Association of Advanced Materials (IAAM), Katsuyuki Kida
機械知能システム工学科	木田勝之	Best Poster Award (IOCAR 2013), 2013 年 07 月 15 日, タイワン(台湾), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞,

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

		Taiwan Society of Android Robotics, Koshiro Mizobe, Masayuki Ishida and Katsuyuki Kida
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Poster Award (IOCAR 2013), 2013年07月15日, タイワン(台湾), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, Taiwan Society of Android Robotics, Shunsuke Oyama, Yuki Hashizume and Katsuyuki Kida
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Poster Award (IOCAR 2013), 2013年07月15日, タイワン(台湾), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, Taiwan Society of Android Robotics, Shintaro Hazeyama, Masatoshi Ando and Katsuyuki Kida
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Awards (ICAMAR 2013), 2013年7月14日, タイワン(台湾), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, Effect of rotation speeds on friction coefficient of PPS race-PTFE retainer Hybrid polymer thrust bearings under dry condition, Xiaochen SHI, Koshiro MIZOBE, Yuji KASHIMA, and Katsuyuki KIDA
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award (ICAMAR 2013), 2013年07月14日, タイワン(台湾), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, Taiwan Society of Android Robotics, Hitonobu KOIKE, Kiyoto ITAKURA, Shota OKAZAKI, Masahiro TAKAMIYA, Kenji KANEMASU and Katsuyuki KIDA
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award (ICMAM 2012), 2012年12月01日, タイワン(台湾), 学会誌・学術雑誌による顕彰, The Organizing committee of ICMAM 2012, Taipei, Taiwan Society of Androbotics, Katsuyuki Kida, Takashi Honda, Yoshihiko Seto, Edson Costa Santos, Takuya Shibukawa
機械知能システム 工学科	小熊規泰	日本設計工学会支部奨励賞, H25. 6
機械知能システム 工学科	小熊規泰	日本機械学会三浦賞, H26. 3
機械知能システム 工学科	川口清司	日本機械学会北陸信越支部学生賞(卒業研究発表)
機械知能システム 工学科	渡辺大輔, 川口清司	日本機械学会北陸信越支部学生賞(卒業研究発表)

平成 26 年度

機械知能システム 工学科	木田勝之	大気中における UHMWPE スラスト軸受の最適形状設計と寿命評価 ○藤村直輝(富山大), 橋詰悠稀(富山大), 溝部浩志郎(富山大), 鹿島祐二(鹿島化学金属), 木田勝之(富山大) 日本機械学会北陸信越支部賞(学生賞卒業研究発表の部) 平成 27 年 3 月 6 日
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award (ICAMEM2014), 2014年10月20日, 香港特別行政区(ホンコン), 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, The committee of the 2014 4th International Conference on Advanced Materials and Engineering Materials (ICAMEM2014), Katsuyuki Kida, Koshiro Mizobe, Ryosuke Arai and Kazuaki Nakane

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award (ICAMDM 2014), 2014年05月24日, シンガポール共和国, 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, The committee of the 3rd International Conference on Advanced Materials Design and Mechanics (2014) and workshop on Android Robotics (ICAMDM2014 & workshop on Android Robotics), Hwa Hsia Institute of Technology (Taiwan) and Taiwan Society of Android Robotics (Taiwan), Katsuyuki Kida, Koretomo Okamoto, Masayuki Ishida, Koshiro Mizobe and Takuya Shibukawa,
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award (ICIDMP 2014), 2014年6月22日, 中華人民共和国北京, 国際学会・会議・シンポジウム等の賞 Koshiro Mizobe, Wakana Matsuda, Masayuki Matsushita, Takuya Shibukawa and Katsuyuki Kida, Best paper award, 2014 3rd International Conference on Industrial Design and Mechanics Power, Committee of ICIDMP
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award, ICSMMS 2014, 2014年4月12日, 中華人民共和国杭州, 国際学会・会議・シンポジウム等の賞, 2014 the International conference on sensors and materials manufacturing science, Committee of ICSMMS, Xiaochen Shi, Yuji Kashima, and Katsuyuki Kida
機械知能システム 工学科	木田勝之	Best Paper Award, ICSMMS 2014, 2014年4月12日, 中華人民共和国杭州, 国際学会・会議・シンポジウム等の賞 2014 the International conference on sensors and materials manufacturing science, Committee of ICSMMS, Koshiro Mizobe, Koretomo Okamoto, Takuya Shibukawa, Kenji Kanemasu and Katsuyuki Kida
機械知能システム 工学科	小熊規泰	日本材料学会支部奨学賞, H26. 4
機械知能システム 工学科	川口清司	ターボ機械協会学生優秀講演賞
機械知能システム 工学科	川口清司	日本機械学会若手優秀講演フェロー賞 (北陸信越支部)
機械知能システム 工学科	川口清司	日本機械学会北陸信越支部学生賞 (卒業研究発表)
機械知能システム 工学科	川口清司	平成 26 年度日本機械学会三浦賞
機械知能システム 工学科	笹木 亮	日本設計工学会武藤栄治賞優秀学生賞, H27. 3

平成 27 年度

機械知能システム 工学科	小熊規泰	日本材料学会支部奨学賞, H27. 4
機械知能システム 工学科	小熊規泰	日本設計工学会武藤栄治賞, H28. 3
機械知能システム 工学科	松島紀佐	日本航空宇宙学会フェロー, 平成 27 年 3 月
機械知能工学科・ 創造工学センター	田代 発造	精密工学会沼田記念論文賞, 2016年03月16日, 日本国, 学会誌・学術雑誌による顕彰, 精密工学会

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

機械知能システム 工学科	笹木 亮	The International Forum on MicroManufacturing & Biofabrication'15, Best Student Award : 平成 27 年 5 月
機械知能システム 工学科	笹木 亮	日本設計工学会武藤栄治賞優秀学生賞 : 平成 28 年 3 月

④生命工学科

平成 22 年度

生命工学科	中村真人	コラボフェスタ 2010 優秀賞 平成 22 年 9 月
生命工学科	中村真人	第 1 回国際 Biofabrication 学会 準優勝ポスター賞 平成 22 年 10 月
生命工学科	中村真人	平成 22 年度日本生体医工学会北陸支部大会 若手研究奨励賞 平成 22 年 12 月

平成 23 年度

生命工学科	中村真人	Biofabrication. 2011 2011 年度ハイライト論文 平成 23 年 9 月
生命工学科	中村真人	第 2 回国際 Biofabrication 学会 準優勝ポスター賞 平 成 23 年 10 月
生命工学科	中村真人	平成 23 年度日本生体医工学会北陸支部大会 研究奨励賞 平成 23 年 12 月

平成 24 年度

生命工学科	森 英利, 山本辰美	社団法人 日本医療機器学会 論文賞 平成 24 年 6 月
生命工学科	中村真人	平成 24 年度日本生体医工学会北陸支部大会 研究奨励賞 平成 24 年 12 月

平成 26 年度

生命工学科	高野真希 星野一宏	Award of ISAF Organizing Committee Chairman, 21th International Symposium on Alcohol Fuels 平成 26 年
-------	--------------	--

平成 27 年度

生命工学科	中村真人	第 10 回北陸化学工学研究交流会 優秀講演発表賞, 2015 年 8 月, 福井
生命工学科	篠原寛明	2015 年電気化学会北陸支部秋季大会若手研究者講演部門 最優秀発表賞

⑤環境応用化学科

平成 22 年度

環境応用化学科	堀野良和	平成 22 年度有機合成化学北陸セミナー 学生ポスター発表賞
---------	------	--------------------------------

平成 24 年度

環境応用化学科	堀野良和	とやま賞
環境応用化学科	加賀谷重浩	日本分析化学会中部支部第 12 回高山フォーラム優秀賞

平成 25 年度

環境応用化学科	北野博巳	高分子学会賞
---------	------	--------

平成 26 年度

環境応用化学科	北野博巳	第 63 回高分子学会北陸支部研究発表会優秀研究発表賞
---------	------	-----------------------------

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

環境応用化学科	石山達也	分子科学会奨励賞
環境応用化学科	加賀谷重浩・源明誠	日本分析化学会第 33 回分析化学中部夏期セミナーポスター優秀賞
環境応用化学科	堀野良和	平成 26 年度有機合成化学北陸セミナー 学生ポスター発表賞

平成 27 年度

環境応用化学科	加賀谷重浩・源明誠	日本分析化学会第 75 回分析化学討論会若手講演ポスター賞
---------	-----------	-------------------------------

⑥材料機能工学科

平成 22 年度

材料機能工学科	松田健二	第 12 回アルミニウム合金国際会議 最優秀ポスター賞 (2010 年 9 月)
材料機能工学科	川畑常真	第 12 回アルミニウム合金国際会議 優秀ポスター賞 (2010 年 9 月)
材料機能工学科	松田 健二	銅及び銅合金論文賞 (2010 年 11 月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 軽金属希望の星賞 (2011 年 2 月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本セラミックス協会北陸支部秋季研究発表会 優秀ポスター賞 (2010 年 11 月)
材料機能工学科	砂田 聡	日本金属学会北信越支部・日本鉄鋼協会北信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2010 年 12 月)

平成 23 年度

材料機能工学科	寺山清志	日本鑄造工学会「学生優秀講演賞」(2011 年 10 月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 60 周年記念学術功績賞 (2011 年 5 月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 軽金属希望の星賞 (2012 年 2 月)
材料機能工学科	寺山清志	日本鑄造工学会「奨励賞」(2012 年 3 月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2011 年 12 月)

平成 24 年度

材料機能工学科	松田健二	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2012 年 12 月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 軽金属希望の星賞 (2013 年 2 月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2012 年 12 月)

平成 25 年度

材料機能工学科	寺山清志	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 2013 年 12 月
材料機能工学科	松田健二	日本金属学会 World Materials Day Award (2013 年 11 月)
材料機能工学科	松田健二	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2013 年 12 月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 軽金属希望の星賞 (2014 年 2 月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本金属学会 World Materials Day Award 部門賞 2013 年 11 月

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

材料機能工学科	佐伯 淳	日本金属学会・日本鉄鋼協会 「奨学賞」(2014年3月)
材料機能工学科	砂田 聡	日本金属学会北信越支部・日本鉄鋼協会北信越支部連合講演会 学生優秀発表賞 (2013年12月)

平成 26 年度

材料機能工学科	才川清二	日本鑄造工学会「技術賞」(2014年5月)
材料機能工学科	才川清二	The 9th International Conference on the Physical Properties and Application of Advanced Materials, Poster Award (2014) (2014年9月)
材料機能工学科	才川清二	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会「優秀学生褒賞」(2014年12月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会功績賞(2014年5月)
材料機能工学科	松田健二	第14回アルミニウム合金国際会議 最優秀ポスター賞(2014年6月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 優秀ポスター発表賞(2014年11月)
材料機能工学科	松田健二	日本金属学会・日本鉄鋼協会北陸信越支部 学生優秀発表賞(2014年12月)
材料機能工学科	松田健二	軽金属学会 軽金属希望の星賞(2015年3月)
材料機能工学科	松田健二	日本鑄造工学会 奨励賞(2015年3月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本セラミックス協会北陸支部秋季研究発表会 優秀ポスター賞 (2014年11月)
材料機能工学科	佐伯 淳	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞(2014年12月)
材料機能工学科	砂田 聡	日本金属学会 金属組織写真奨励賞 (2015年3月)

平成 27 年度

材料機能工学科	松田健二	The 10th International Conference on the Physical Properties and Application of Advanced Materials, Poster Award (2015) (2014年11月) 青木文謙 (M1)
材料機能工学科	松田健二	The 10th International Conference on the Physical Properties and Application of Advanced Materials, Poster Award (2015) (2014年11月) 河合 晃弘 (M2)
材料機能工学科	並木孝洋	The 10th International Conference on the Physical Properties and Application of Advanced Materials, Poster Award (2015) (2014年11月) 雷 前坤 (D3)
材料機能工学科	才川清二	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞(2015年12月) 加古博紀 (M1)
材料機能工学科	砂田聡	日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会 学生優秀発表賞(2015年12月) 海藤雅裕 (M1)

(出典：工学部総務課調査統計資料)

これらの年度別受賞状況を支部，全国，国際の3つのクラス毎に分類して件数を分析すると，以下ようになる。(資料2-1-2)

富山大学工学部 分析項目Ⅱ

総件数は184件で、支部大会クラスが71件（全体の38.6%）、全国大会クラスが69件（全体の37.5%）、国際会議クラスが44件（全体の23.9%）となっている。学科毎の比率も以下に示す。国際会議クラスの受賞件数は、総件数の1/4程度と比較的多くの受賞がなされている。

クラス別では、支部大会クラスでは年平均11.8件、全国大会クラスでは年平均11.5件、国際会議クラスでは年平均7.3件となっている。支部大会クラスでは、平成26年度の21件が特筆すべく多く受賞されている。全国大会クラスでは、同じく平成26年度に18件受賞しているが、毎年10件程度受賞している。国際会議クラスでは、平成25、26年度で各11件及び12件と以前の2倍の受賞件数となっており、研究成果が着実に外部評価されていると考えられる。

資料2-1-2 年度別受賞状況

①支部大会クラス

	電気電子システム工学科	知能情報工学科	機械知能システム工学科	生命工学科	環境応用化学科	材料機能工学科	小計
平成22年度	3	4	2	2	1	2	14
平成23年度	2	2	3	1	0	1	9
平成24年度	0	7	1	1	1	2	12
平成25年度	0	3	4	0	0	3	10
平成26年度	5	6	4	0	2	4	21
平成27年度	0	0	1	2	0	2	5
合計	10	22	15	6	4	14	71

②全国大会クラス

	電気電子システム工学科	知能情報工学科	機械知能システム工学科	生命工学科	環境応用化学科	材料機能工学科	小計
平成22年度	2	2	0	0	0	2	6
平成23年度	6	1	2	1	0	4	14
平成24年度	5	1	3	1	1	1	12
平成25年度	1	4	1	0	1	4	11
平成26年度	4	3	3	0	2	6	18
平成27年度	2	1	4	0	1	0	8
合計	20	12	13	2	5	17	69

③国際会議クラス

	電気電子システム工学科	知能情報工学科	機械知能システム工学科	生命工学科	環境応用化学科	材料機能工学科	小計
平成22年度	1	1	0	1	0	2	5
平成23年度	3	1	0	1	0	0	5
平成24年度	2	3	0	0	0	0	5
平成25年度	3	1	7	0	0	0	11
平成26年度	3	1	5	1	0	2	12
平成27年度	2	0	1	0	0	3	6
合計	14	7	13	3	0	7	44

	電気電子システム工学科	知能情報工学科	機械知能システム工学科	生命工学科	環境応用化学科	材料機能工学科
総計	44	41	41	11	9	38
%	23.9	22.3	22.3	6.0	4.9	20.7

(出典：工学部総務課調査統計資料)

(水準)

期待される水準を上回る。

(判断理由)

工学部では、研究の基本方針に沿い、学部・研究科等を代表する研究業績説明書に示される優れた研究成果が挙げられている。

また、広範囲に渡る研究成果で、特筆すべきは第1期中期目標期間に比べ、全国大会や国際会議での各賞の受賞数が格段に増加している点である。支部大会クラスでは年平均が3.0件から11.8件と4倍程度に、全国大会クラスでは年平均が7.25件から11.5件と約1.6倍に、国際会議クラスでは年平均が1.0件から7.3件と7倍以上の増加がみられた。

特に、国際会議クラスの受賞数の大幅な増加は特筆すべきと考え、教員のグローバル化に対する考え方が定着している表れと考えられる。

以上より工学部では、研究活動の度合いを示す客観的な数値からみて、研究活動は活発に行われており、期待される水準を上回ると判断される。

Ⅲ 質の向上度の判断

(1) 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

① 事例1「科学研究費補助金の獲得に向けた取組み」(分析項目Ⅰ)

(質の向上があったと判断する取組)

工学部では、科学研究費の不申請者には予算の50%減額の対策を講じ、申請数の向上に大きな効果を上げている。また、外部から科研費獲得の専門家を科研費コーディネーターとして招聘し、申請書を丁寧に推敲するとともに、セミナー開催等を通じて申請アドバイスを行っている。これらの取組を通し、第1期中期目標期間では16%程度であった新規課題の平均採択率が、第2期では6ポイント向上し、科学研究費獲得の成果が如実に顕れている。

以上のことから、研究水準の向上があったと判断する。

② 事例2「受託研究、共同研究および寄付金の獲得」

第2期中期目標期間における奨学寄付金については第1期比べて同水準である毎年80件程度、4,800千円程度の金額を受け入れており、高水準を保っている。受託研究と共同研究では、受入件数が平均で1.7倍(17.0件/年:第1期→28.8件/年:第2期)と1.1倍(66.5件/年:第1期→75.7件/年:第2期)と、各々増加しており、また受入金額についても平均で2.3倍(75,525千円:第1期→174,059千円:第2期)と1.3倍(62,006千円:第1期→83,663千円:第2期)まで、各々増加している。(資料1-1-4)

以上より、研究水準の向上が図られ、高い水準を維持していると判断する。

(2) 分析項目Ⅱ 研究成果の状況

① 事例1「各賞の受賞状況及び国際会議での報告・講演」(分析項目Ⅱ)

成果の中で特に、独創的な発想と地道な研究成果の積み重ねが評価され、

平成22年度に3件「Best Innovation Award」,「第12回アルミニウム合金国際会議 最優秀ポスター賞」,「第12回アルミニウム合金国際会議 優秀ポスター賞」,

平成23年は8件「日本磁気学会学術奨励賞」,「電気設備学会全国大会奨励賞」,「Excellence in Research Journal Award」,「Outstanding Poster Awards, IDW11」,「電気学会優秀論文発表賞」,「Best Poster, ISSP 2011」,「Outstanding Presentation Award, The 30th JSST Annual Conference International Conference on Modeling and Simulation Technology」,「軽金属学会60周年記念学術功績賞」,

平成24年度は8件「JJAP/APEX Editorial Contribution Award」,「電子情報通信学会論文賞」,「日本AEM学会論文賞」,「電気学会優秀論文発表賞」,「Best Poster Award」,「Best Paper Award, 12th International Conference on ITS Telecommunications ITST2012」,「日本材料学会優秀研究発表賞」「とやま賞」,

平成25年度は8件「Best Paper Award」,「情報処理学会」,「Best Poster Award, IAAM Medal, International Association of Advanced Materials」,「Best Poster Award, IOCAR 2013」,「Best Paper Award, ICAMAR 2013」,「日本機械学会三浦賞」,「World Materials Day Award」,「高分子学会賞」,

平成26年度は11件「2回有機・無機エレクトロニクスシンポジウムポスターアワード」,「公益社団法人発明協会 発明奨励賞」,「Best Paper Award, ICAMEM2014」,「Best Paper Award, ICAMDM 2014」,「Best Paper Award, ICIDMP 2014」,「Best paper award, 3rd International Conference on Industrial Design and Mechanics Power」,「Best paper awards, ICSMMS 2014」,「Best Paper Award, ICIDMP 2014」,「Best paper award,

2014 the International conference on sensors and materials manufacturing science」,
「分子科学会奨励賞」

平成 27 年度は 16 件「電気関係学会北陸支部連合大会 電子情報通信学会学生優秀論文発表賞」,「日本材料学会支部奨学賞」,「日本金属学会北陸信越支部・日本鉄鋼協会北陸信越支部連合講演会学生優秀発表賞」,「北陸化学工学研究交流会 優秀講演発表賞」,「電気化学会北陸支部秋季大会若手研究者講演部門最優秀発表賞」,「電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会功労賞」,「情報科学技術フォーラム F I T 奨励賞」,「日本設計工学会武藤栄治賞」,「日本航空宇宙学会フェロー」,「精密工学会沼田記念論文賞」,「精密工学会学会誌・学術雑誌による顕彰」,「日本設計工学会武藤栄治賞優秀学生賞」,「日本分析化学会分析化学討論会若手講演ポスター賞」,「IEEE AP-S Japan Student Award」,「The International Forum on MicroManufacturing & Biofabrication'15, Best Student Award」,「The 10th International Conference on the Physical Properties and Application of Advanced Materials, Poster Award」など,世界的あるいは全国的レベルの各種学会賞等を受賞している(資料 2-1-1)。

② 事例Ⅱ「研究業績で SS の評価」を持つ研究内容

ミッションの再定義の研究目的に合致し,外部評価が比較的高い代表的な研究成果の判断基準で研究業績を選定した結果,学術的意義のある研究業績として学部を代表する優れた SS の研究業績及び社会・経済・文化的意義のある SS の業績は以下の通りとなる。

社会・安全システム科学では,「各種災害に対する情報センシングとハザードマップによる情報配信に関する研究開発」,工学(電気電子工学)では,「人と社会インフラが連携する医療 ICT ネットワークの構築に向けた人体・伝搬影響適応制御ウェアラブルアンテナと OTA 評価方法に関する研究開発」,工学(材料工学)では,「アルミニウム合金の時効析出ならびに微細化合物のナノ構造解析に関する研究」,「軽量化ならびに高機能化を具現化する軽金属材料および鋳造法の研究」,工学(プロセス・化学工学)では「Bioprinting, Biofabrication の研究」,そして生物系(神経科学やゲノム科学)では,「脳回路の発達の研究」,「単一細胞由来抗体迅速発現単離システムの開発」が挙げられる。

以上のことから,研究水準の向上があったと判断する。